

総括報告書の編集方針について（案）

文化財課

1 目 的

- (1) 加曽利貝塚が特別史跡に相応しい価値を有することを証明する。
- (2) 今後の史跡の整備活用方針を定めるための基礎とする。

2 基本方針

- (1) 過去の発掘調査成果を見直し、学術的な価値を今日的な研究レベルから裏付ける。
- (2) 縄文時代や貝塚に関する研究史上の跡付けを行う。
- (3) 文化財保護や史跡の整備活用の歴史上の跡づけ等、様々な角度から遺跡の価値評価につながる事項をまとめる。
- (4) 加曽利貝塚や貝塚を正しく理解する上で不足している情報を明らかにし、今後の調査研究を進めるための指針を定める。
- (5) 再整理および総括報告書の成果を積極的に公開・活用していく。一般市民にわかりやすく縄文時代や貝塚の魅力を伝えるとともに、博物館常設展示の充実、史跡の整備・活用に向けた検討や市の文化財保護体制の整備などにも活かしていく。

3 再整理の過程で見えてきた加曽利貝塚の価値・魅力

市では東京湾沿岸の大型貝塚群の象徴として加曽利貝塚を位置づけるべく、大規模開発と引き換えに消滅した数々の貝塚の発掘調査成果を踏まえた分析・検討を加え、加曽利貝塚の新たな価値・魅力を見出すことを目指してきた。

編集部会では委員の皆様時代に時代や地域を超えた視点からご意見を伺い、特別史跡に相応しい総括報告書にまとめていきたい。

